



3Dプリンターモデルハウス「Lib Earth House "modelA"」

国内初、土を主原料にした 3Dプリンターモデルハウスが完成

戸 建て住宅の企
画・販売会社

のリブワーク(本社・

熊本県山鹿市、瀬口

力社長)は、建設用

3Dプリンターを活

用し、国内で初めて

土を主な建築材料と

して採用した住宅

「Lib Earth House

「modelA」(リブ・アース・
ハウス・モデルA) (15㎡タ
イプ)を完成させた。

3Dプリンターを活用する

住宅建築は、大幅なコスト削

減、工期短縮ができるほか、

大工をはじめとする職人の高

齢化や人材不足の課題を解決

する方法として、今、注目さ

れている工法だ。

このたび完成した同社の3

Dプリンターハウスの特徴は、

主原料にコンクリートやモル

タルではなく、自然由来の

「土」を使用していることに

ある。土は容易に入手できて

再利用が可能なため、二酸化

炭素の排出と廃棄物を大幅に

抑え、環境への負荷を軽減で

きる。また、調湿性や断熱性

に優れた機能を有しているの

で、高温多湿な日本の気候風

土に最適な素材といえる。な

によりも日本では古来より壁

材として土が利用されている

ため、顧客の理解を得やすい

材料といえよう。

「サステナブル&テクノロ

ジーで住まいにイノベーション

を起こす」をミッションに

掲げる同社では、この3Dプ

リンターハウスは、持続可能

な未来へのコミットメントを

体現するものと考え、来年か

らの一般販売ができるよう開

発を進めていく方針だ。

中小企業のボトムアップを行い、日本経済の 発展を目指す新春セミナー2024を開催

1 月30日、ジャパンコンサ
ルティングファーム(株)

(本社・東京都港区、石原尚

幸会長、以下JCF)は、「中

小企業を強くたくましくす

る」をコンセプトに新春セ

ミナー「名経営者はいつから

名経営者になったのか」を開

催した。

講師は日経トップリーダー

発行人の北方雅人氏。数多く

の経営者をインタビューして

きた経験をもとに、名経営

者の思考回路を解説した。

会場には40人近くの経営者、

士業関係者等が集まり、参加

者は、北方氏の講演に熱心に

耳を傾け、講演後の懇親会で

も、経営者同士の会話は大き

に盛り上がっていた。

独立行政法人中小企業基盤

整備機構によると、日本を支

える中小企業数は約360

万社(日本の全企業数のうち

99・7%)に上る。JCFが

セミナーを開催する背景には、

セミナーを通じて受講者に自

社の経営に向き合ってもらっ

狙いがある。

JCFは、ビジョン、戦略、

組織、ヒト、カネの流れに着目

し、トータルで経営課題を改

善する「五つ星経営フロー」

を確立しており、長期的に経
営の基盤を強くするサポート
を得意としている。

代表の石原氏は「日本の経

済を良くするためには、中小

企業の底上げが必須だと考え

ています。だからこそ、セミ

ナー等の機会を活用してほし

い。7月19日には、五つ星★

サミットを開催します」と意

気込みを語った。

JCFホームページ

<https://www.japan-cl.com>



セミナー参加者による記念撮影と、挨拶をする石原尚幸・JCF会長